

環境計画 news NO 12

福寿川をきれいにしたい Part 3 プリンせっけん づくり講習会



環境計画町民会議では今年の7月から、カキ貝殻を福寿川に設置し、直接川をきれいにしようとして取り組んでいます。福寿川に流れ込む生活排水からも川の水をきれいにしようと考えています。

使用済みの天ぷら油に苛性ソーダと「ごはん」を入れると、プリンのようにやわらかい「せっけん」ができます。水に溶けやすく洗濯機でも使うことができます。ほか、食器洗いやトイレ、お風呂掃除など色々なところに使えるとても優秀なせっけんです。

9月2日午後7時、役場車輛総合車庫に町民約50人が集まりせっけん作りをしました。町民会議五十嵐代表から、未来の子ども達により良い環境を残すため

には、いま生きている我々が環境を考えた生活をしなければならぬ」とあいさつがありました。その後、講師役の町民会議メンバー田中さんからせっけん作りの注意点や使い方の指導があり、その後各自でせっけん作りが始まりました。

90度以上に熱した油に苛性ソーダと「ごはん」を熱湯を長い棒で約20分間混ぜます。参加者はせっけんの入ったバケツを持ち帰りその後3日おきに4回熱湯を足して、かき混ぜながら、1カ月熟成させます。

羽幌地区環境計画町民会議では今回作ったプリンせっけんを11月3日に中央公民館で開催される町民芸術祭会場で先着200名に無料配布する予定です。

「プリンせっけん」 の作り方

●材料

- 使用済み油 1ℓ(90〜95 に熱する)
- 熱湯 1ℓ(沸騰させる)
- 苛性ソーダ 145g(劇薬、取扱注意)
- ごはん 200g
- (冷ごはん、雑穀の入ったごはんでもOK)

●用具

- 蓋付きポリバケツ(容量8ℓ程度のもの)
- 天ぷら鍋(油を熱する)
- 計量カップまたは牛乳パック
- 長めの棒 1.5m位、短いと腰が疲れる)
- 温度計・やかん・ガスコンロ
- あったら良い物、マスク、ゴーグル、軍手

●作り方

バケツにごはん、苛性ソーダ、熱した油を入れる。ここではまだ混ぜません。

屋外に出してから熱湯1ℓを入れ、長めの棒で20分くらいかき混ぜます。熱湯を入れると激しく白い煙や泡が出て反応します。煙を吸わないように注意して、反応がおさまってからゆっくりかき混ぜます。ごはん粒が少し残っていても大丈夫です。1日目はここまで、蓋をして保管します。冬に作る場合凍結させるとできない場合があります。凍らない場所に保管してください。

3日後に沸騰した熱湯1ℓを加えて、よくかき混ぜます。

最初は表面が硬く固まっています。少しかき混ぜてから熱湯を入れると混ぜやすいです。熱湯は3日おきに4回1ℓづつ加えていきますが、少々日数がずれても構いません。

2回目、3回目と段々やわらかくなっていきます。最初に良くかき混ぜていないと表面だけ固まり、中は液体のままということがあります。その場合でも、よくかき混ぜると同じようになります。

熱湯を4回加えた後、3週間くらいそのまま置いて熟成させます。

熟成の間に液体とせっけんの固まりに分離する場合がありますが、混ぜると問題ありません。

最終的に約6ℓのプリン石けんができます。

●注意事項

苛性ソーダは劇薬です。薬局で購入します(印鑑持参、500gで630円位)。苛性ソーダが熱湯と反応すると有毒な煙が出ますので、必ず屋外で作業を行ない、煙を吸わないようにマスクをしたり十分注意しましょう。苛性ソーダが目に入ると大変危険です、飛び散らないようにしましょう。

洗濯機に使う場合、水30ℓにコップ1杯程度(150g)を入れ、洗濯物を入れる前に1分程度動かし、せっけんを溶かしてから洗濯物を入れます。

▶環境計画町民会議へのご意見をお待ちしています。事務局(農林水産課自然環境係)へご連絡ください。
☎ 2-1211(内線347) E-メール nousui@town.haboro.hokkaido.jp